H30.7.5

日立一高　安斎

平成30年度第1回専門委員会実験指導委員会資料

１．光硬化樹脂（UVレジン）を用いてプレパラートは制作できるのか

光硬化樹脂（UVレジン）を用いて，プレパラートの作成を試みる。樹脂の親水性の無さと試料の含水量とが問題になると予想されるので，どのくらい使用できるのか，実際にプレパラートを作成して確認したい。

また，今回は，同時に二種類混合染色液による二重染色（サフラニン－ファストグリーン染色）を行って，試料の染色具合を確認する。

材料：UVレジン液，UVライト，封入する材料，染色液（サフラニン－ファストグリーン染色）

●染色液の作成と染色処理について

①分離染色　サフラニン30分→（アルコール洗浄）→ファストグリーン5分

　　簡便法　サフラニン10秒→水5秒→ファストグリーン30秒→水10秒

サフラニン　　　　５０％アルコール100mLに0.5～１ｇ　（水の場合も有り）

ファストグリーン　９５％エタノールに0.5～１ｇ

（岩手県立総合教育センター　H19）

②混合染色　　65℃で５～７分（or　60℃７～10分）染色処理

サフラニン0.3ｇを２０％エタノール50mLに溶かし，それにファストグリーン0.4ｇを溶かした後，1モル塩酸50mLを加える。

（神奈川県立教育センター研究集録4　1985)

２．簡易型分光計の制作と光合成色素の吸収スペクトルの観察

グレーチングシート利用の分光計を制作した。発光装置を内蔵し，光合成色素の吸収スペクトルを直接観察できるタイプとしたので，その件について報告する。

　以前使用していたタイプ（CD面の反射を利用したもの）は，光源を太陽光や蛍光灯に依存していたため，分光が見える角度が限られていたし，観察資料を手で支える必要があったので，少し不便であった。

　そのような点に考慮して今回作成したものについて，改良点などのご意見をいただきたい。